

創立 50 周年記念大会 第 50 回病院対抗野球大会 桃仁会病院が優勝 !!

創立 50 周年記念大会 第 50 回京都府知事杯争奪病院対抗野球大会の最終日（第 4 日目）は 9 月 7 日（日）に太陽が丘グラウンドにて準決勝戦と決勝戦が行われました。

最終日の準決勝では、第一試合で桃仁会病院が宇治徳洲会病院に勝利【7月27日実施分】、第二試合で蘇生会総合病院が宇治おうばく病院を下し、それぞれ決勝戦に進出しました。

決勝では、桃仁会病院が接戦を制し、2年ぶり、7度目の優勝の栄冠を手にしました。

試合終了後に行われた表彰式では、優勝した桃仁会病院に表彰状・知事杯・優勝旗およびトロフィーが、また準優勝の蘇生会総合病院にも表彰状とトロフィーが手渡されました。また、第3位の宇治徳洲会病院と宇治おうばく病院にも表彰状とトロフィーが贈られました。さらに協賛企業の株式会社セレマから、3位までの4チームにセレマ杯と副賞が贈られました。

次に八木担当幹事より閉会の挨拶が行われ、4日間にわたった今大会は幕を閉じました。

なお、個人タイトルでは、最高殊勲選手に桃仁会病院の猪谷光希選手、最優秀投手に同病院の兵頭智之選手が選ばれました。

《第 50 回大会ベスト4のチーム》

優 勝：桃仁会病院

準優勝：蘇生会総合病院

第3位：宇治徳洲会病院・宇治おうばく病院

●第4日目（準決勝・決勝）試合結果 ※左が勝者

準決勝第一試合	桃仁会病院	6 - 3	宇治徳洲会病院	【7月27日実施分】
準決勝第二試合	蘇生会総合病院	3 - 2	宇治おうばく病院	
決 勝	桃仁会病院	5 - 2	蘇生会総合病院	



優勝・桃仁会病院チーム



準優勝・蘇生会総合病院チーム

創立 50 周年記念大会 京都府知事杯争奪第 50 回病院対抗野球大会 総評

大会実行委員長 洛和会音羽記念病院 北本 雄大

回を重ねること 50 回目の【京都府知事杯争奪病院対抗野球大会】が閉会しました。

今大会は前回大会より 1 チーム多い 42 チームでの開催となりました。

京都私立病院協会事務局の協力を得て 2 月から実行委員会を開き、過去の反省点も踏まえながら大会実施要項をまとめました。

大会初日は 4 月中旬頃ではあったものの、初夏を思わせる晴天の中で予定通り行われました。今大会は台風の影響もあり 2 度順延を挟みましたが、9 月 7 日無事決勝戦を迎えられ全日程を終了する事ができました。

今大会も前回大会同様に白熱した試合となりました。

最も印象に残った試合が、3 回戦の醍醐病院と宇治おうばく病院の試合です。両者ともに実力のある病院同士の対戦で前評判通りの緊迫した投手戦となりました。最終回終了した時点で決着がつかず、大会規定によりじゃんけんで宇治おうばく病院が勝利しました。

決勝戦は、前回覇者桃仁会病院が蘇生会総合病院を迎え撃つ試合となりました。決勝戦でも桃仁会病院の地力の強さが勝り、2 年ぶり 7 度目の優勝を手中に収めました。

惜しくも準優勝となった蘇生会総合病院も全員野球で決勝まで勝ち上がり決勝戦も堂々とプレーしていたのが印象的でした。来年も蘇生会総合病院に期待しています。

最後に、ご協賛頂きました株式会社セレマ様には、お仕事の合間を縫って連日の調整を頂き本当にお世話になりました。また、大会期間中には大きなトラブルや怪我人等無く、実行委員長として大役を果たせたのも、ひとえに京都軟式野球連盟審判員の皆様、実行委員の皆様、事務局の皆様、御参加下さいました全ての方に感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

第 51 回大会は更に白熱した大会になる事を祈念致します。

「天を味方に付けた優勝」

桃仁会病院 平井 治

今年はエースピッチャーが肩の敵障で投げられず、2～6 番手投手の踏ん張りに助けられた大会でした。4 回戦までは順調に勝ち上がることが出来ましたが、準決勝からは不安の連続でした。

準決勝、宇治徳洲会戦は、先発予定の投手が夜勤明けのため開始に間に合わず、急造投手で臨みました。1 回にエラー絡みでいきなり 3 点のビハインド、嫌な雰囲気立ち込めました。予定の投手が到着し、1 回を 3 者凡退に片付けるや、ムードは一変。ここで天気が雨に変わり、相手投手がコントロールに苦しむ中、チャンスを広げて一気に 6 点を取って逆転勝利を収めました。その後の準決勝 2 試合目は雨のため中止となりました。

最終日は準決勝 2 試合目が終わってから、引き続き決勝という変則日程。桃仁会は余裕をもって決勝に臨むことが出来ました。決勝戦対戦相手は蘇生会総合病院。序盤に 2 点を先制され、打線は相手の好投手の前に 4 回までノーヒット、敗北の 2 文字がベンチ内に立ち込めました。5 回になり連投の相手投手に疲れが見え始め、四球、四球、死球でノーアウト満塁、ここでライトオーバーの 2 塁打が出て同点。気分が楽になり、後続も続き一気に逆転し優勝することが出来ました。

準決勝で突然雨が降り出し相手投手がコントロールを乱さなければ、準決勝第 2 試合が雨で延期にならず蘇生会の投手が連投でなかったらと考えると、今年は天を味方に付けた優勝だったように

思います。負ければ即廃部？(青島製作所か)の危機から、一変、高級黒毛和牛で乾杯が出来るのも、雨のお陰かもしれません。来年は、運に左右されない強いチームを作り2連覇を目指したいと思います。

最後になりましたが、真冬のような気温の4月から、炎天下の夏、そして雨に悩まされた後半まで大会運営に尽力くださった、実行委員、審判団の皆様、協賛いただいたセレマの皆様、事務局に感謝いたします。

京都府知事杯争奪 第50回病院対抗野球大会 トーナメント表

